

1 審議会名	上田市 子ども・子育て会議
2 日時	平成29年2月16日(木) 午後1時30分から午後3時15分まで
3 会場	ひとまちげんき・健康プラザうえだ 2階 多目的ホール
4 出席者	金山会長、若林副会長、飯島委員、神原委員、清水(綾)委員、清水(孝)委員、下村委員、春原委員、関委員、渡辺委員、山崎委員、宮下委員、西村委員、中澤委員、寺田委員、瀧本委員(欠席委員)畑中委員、小池委員、白石委員、寺尾委員
5 市側出席者	神代健康こども未来部長、石井健康推進課長、細川保育課長、徳永子育て・子育て支援課長、遠藤健康推進担当係長、間宮保育担当係長、堀内(正)保育担当係長、小山障がい者支援課担当係長、白鳥学校教育担当係長、中村子育て・子育て支援担当係長、堀内子育て・子育て支援担当係長、羽毛田子育て・子育て支援担当係長、吉澤子育て・子育て支援担当係長、川合主事
6 公開・非公開	公開 ・ 一部公開 ・ 非公開
7 傍聴者	0人 記者 0人
8 会議概要作成年月日	平成29年2月24日

協議事項等

- 1 開 会 (徳永子育て・子育て支援課長)
- 2 あいさつ (神代健康こども未来部長)
- 3 人事通知書の交付
- 4 新任委員 自己紹介
- 5 議 事
 - * (1) から (3) まで、一括して事務局より説明。
 - (1) 教育・保育施設等の平成28年度の実績及び平成29年度の量の見込みについて
 - (2) 平成28年度子ども・子育て支援事業計画の実施状況について
 - (3) 平成29年子ども・子育て支援【新規・拡充】事業について
 - 資料・・・平成28年度の量の見込みは、事業計画に基づく数値、実績は、平成28年度末までの見込みを含めた数値、平成29年度の数値は、事業計画の数値となっている。
 - ・以降、協議
 - (委員) 母子健康手帳の、従来の年齢で生まれるものという前提のうえで書いてある部分の改善をお願いしたい。
障がいを持つ児童の受け入れができる場所の確保をお願いしたい。
 - (事務局) 受け入れ先については、情報が入ってこないのが現状である。情報交換に努めたい。
また、保健師などと連携しチームで支援に当たれるよう、体制を組みたいと考えている。
台帳の整備については、緊急時や日ごらの見守りをだれがどう対応をするのか、を記載していきたいと考えている。
 - (委員) 障がいのある児童の定着支援台帳の整備について、
支援の必要のある児童のなかに、障がいのある子どもがいると認識しているため、表現に疑問がある。
定着支援という言葉の意味がわからない。
台帳登録の申し出は家庭からなのか、各園・校からなのか。
また、資料1の、養育支援訪問事業はH28の実績が増えているのに、H29の見込みが減っているのはなぜか。
 - (事務局) 大人の障がい者支援の中の「定着支援給付サービス」より、“定着支援”という言葉
を引用した。登録台帳という意味合いである。
台帳の整備は、ご家族に確認しながら整備していく。高リスクなケースについては、行政で登録するケースもあると思われる。

養育支援の数値について、平成 29 年の見込みは、平成 27 年 4 月当初の見込み数となっており、平成 28 年の実績を踏まえての数値となっていない。

(委員長) 行動計画の数値は、平成 27 年 4 月の、事業計画策定の際のニーズ調査を踏まえて決定された数値ということでよいか。

(事務局) そのとおりである。

(委員) 病児保育について、保育園・幼稚園に通う親子たちの需要は施設型だと考える。

また、病児保育を行うためには看護師を雇う必要がある。

施設型の実施及び看護師を雇う費用補助の検討を願いたい。

保育士が上田で定着するために上田市独自の処遇改善の検討を願いたい。

(事務局) 病児保育施設型の設置は、どの程度利用が見込めるか等の課題の検討をする必要がある。当面は資料のとおり 1 施設増設の検討を進めている。

保育士の処遇改善については、自治体独自で負担する住宅補助等の施策は県レベルで行っているところが多いと思うが、上田市としても検討していく。

(会長) 病児保育はニーズが高い。使いやすい病児保育は病児の子どもが集まりすぎる事例もある。新たに作る場合には、今の現状を反映させて改善したものを作ってほしい。

(委員) 資料 1 放課後児童クラブの見込みや実績の数値は、平日の利用者の数値か登録者の数値か。

資料 2 放課後児童クラブの職員配置について、広報うえだでも職員の募集を複数回行ったのは、人材が不足しているからか。

資料 2 支援者向けペアレントトレーニングを、放課後児童クラブ職員も受講したい。また、放課後児童クラブの職員の処遇改善について、各施設ごと、職員ごとのサービス提供の格差もある。国の施策では、キャリアアップ処遇改善も行われるため、上田市でも行ってほしい。

(事務局) 見込み・実績の数値は平日の利用児童数である。

職員募集は、普段ハローワークを通じて行っているが不足しているため、広報うえだでも募集を行った。さまざまな形で人材不足を打開していきたいと考えている。

研修については、情報は放課後児童クラブ等に随時知らせている。

処遇改善について、29 年度以降の補助金は、未だ詳細な通知がないため詳しくは答えられないが、活用していきたい。

(4) 家庭的保育事業等の変更および開設について

- ・資料 4 に沿い、保育課長から概要を説明
- ・協議、意見なし

(5) 意見交換

(副会長) 長野市では、学童と児童館が一体となり、有料化している。上田市では有料化についてどう考えているか。

(事務局) 長野市の児童館の有料については、児童館を放課後児童クラブのように利用している家庭が有料であると把握している。上田市でもそのような利用をしている家庭があることは把握しているが、現時点では児童館・児童センターはどのような利用でも無料としている。今後は、放課後児童クラブの利用と似たような利用形態となる場合の同一性の検討は課題として検討する。

(委員)未満児保育ではリスクが高く、働いていて安心というのが大切。賠償責任保険の加入などの処遇対応などはあるのか。

(委員)園全体での賠償責任は入っている。子どものけがに関しても人数分、園で保険に加入している。責任追及や裁判があったとき用の保険を個人的に入るような形態になっている。

6 事務連絡

* 次回会議は、議題がなければ平成 29 年 7 月ごろとなる。

* 委員の任期は平成 30 年 7 月だが、団体役員の変更等で、子ども・子育て会議委員も変更になる場合には事務局へ連絡いただきたい。

7 閉会